

第11回宇宙開発委員会（定例会議）
議 事 次 第

1. 日 時 平成4年6月24日（水）
 午後2時～2時半

2. 場 所 宇宙開発委員会会議室

3. 議 題 (1) 前回議事要旨の確認について

 (2) 宇宙ステーション取付型実験モジュール（JEM）の利用
 計画に関する調査審議について

4. 資 料 委11-1 第10回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（案）

 委11-2 宇宙ステーション取付型実験モジュール（JEM）の利
 用計画に関する調査審議について（案）

第 1 0 回宇宙開発委員会（定例会議）
議事要旨（案）

1. 日時 平成 4 年 6 月 1 7 日（水）
午後 2 時～ 2 時半
2. 場所 宇宙開発委員会会議室
3. 議題
 - (1) 前回議事要旨の確認について
 - (2) 宇宙往還輸送システムに関する調査審議について
 - (3) 宇宙実験用小型ロケット（T R - 1 A）2 号機の打上げ計画について
4. 資料

委 10-1 第 9 回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（案）
 委 10-2 宇宙往還輸送システムに関する調査審議について（案）
 委 10-3 宇宙実験用小型ロケット 2 号機打上げ計画書（案）
5. 出席者

宇宙開発委員会委員長代理	久良知 章 悟
" 委員	野 村 民 也
" "	曾 山 克 巳
関係省庁	
通商産業省機械情報産業局次長	牧 野 力（代理）
運輸省運輸政策局次長	向 山 秀 昭 "
" 気象庁総務部長	山 下 哲 郎 "
郵政大臣官房審議官	大井田 清 "
事務局	
科学技術庁研究開発局企画課長	池 田 要
" " 宇宙企画課長	興 直 孝
	他
6. 議事
 - (1) 前回議事要旨の確認について
第 9 回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（資料委 1 0 - 1）が確認された。
 - (2) 宇宙往還輸送システムに関する調査審議について
事務局から、資料委 1 0 - 2 に基づき説明が行われた後、原案どおり決定された。
 - (3) 宇宙実験用小型ロケット（T R - 1 A）2 号機の打上げ計画について
宇宙開発事業団から、資料委 1 0 - 3 に基づき説明が行われ、事務局から、打上げの安全性について問題がない旨の説明が行われた後、原案どおり了承された。

委 1 1 - 2

宇宙ステーション取付型実験モジュール（JEM）の 利用計画に関する調査審議について

（案）

平成4年6月24日
宇宙開発委員会決定

1. 審議の趣旨

平成4年5月の宇宙ステーション部会報告「宇宙ステーション取付型実験モジュール（JEM）の利用の基本方針」に基づき、1998年中頃から開始されるJEMにおける運用・利用の計画策定に必要となる利用に関する重要事項及びJEMの利用テーマの選定について調査審議する。

2. 調査審議事項

宇宙ステーション取付型実験モジュール（JEM）の利用計画に関すること

3. 調査審議の進め方

調査審議は、宇宙ステーション部会において行うこととし、必要に応じて宇宙開発委員会に報告を行うものとする。なお、当面、JEM及び共通実験装置等の検証の段階における利用計画に関することを主として調査審議の対象とする。

(参考)

宇宙ステーション部会構成員

平成4年6月1日現在

部会長	小林 繁夫	東京理科大学工学部教授
部会長代理	山中 龍夫	科学技術庁航空宇宙技術研究所 宇宙研究グループ総合研究官
専門委員	秋山 守	東京大学工学部教授
	石澤 禎弘	宇宙開発事業団理事
	餌取 章男	三田出版株式会社専務取締役
	川口 貞男	文部省国立極地研究所企画調整官
	栗林 忠男	慶應義塾大学法学部教授
	児玉 宏	財団法人東レ科学振興会専務理事
	佐藤 温重	東京医科歯科大学歯学部教授
	澤岡 昭	東京工業大学セラミックス研究センター長
	進藤 英世	三共株式会社参与総合研究所研究主幹
	武田 康嗣	株式会社日立製作所常務取締役
	中川 學	一橋大学経済学部教授
	中山 勝矢	広島工業大学教授
	原田 佑介	日本開発銀行理事
	日根野 穰	三菱重工業(株)取締役航空機・特車事業本部副 本部長
	新居 和嘉	科学技術庁金属材料技術研究所長
	畚野 信義	郵政省通信総合研究所長
	松尾 弘毅	文部省宇宙科学研究所教授
	米沢 富美子	慶應義塾大学理工学部教授
	渡邊 悟	名古屋大学環境医学研究所教授